

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

組織の力を取り戻す 佐伯 啓思 (京都大学大学院教授)

1. 経済学では、資本、労働、自然資源 (土地) の三つの生産要素を用いるが、ドラッカーは四つ目として「組織」の重要性を説く。現実社会では当然のことだが、経済学では分析対象にならなかった。ドラッカーは、企業の目的も利潤の最大化ではないと述べている。従来 of 経済学の見方と異なっていた。物事を総合的にとらえており、経営学者というより社会哲学を持った文明論者として関心を持った。
2. 今、ドラッカーが見直されているのは、社会や経済が不安定になり、「そもそも経済活動とは何か」が問われているからだろう。本来の目的は、社会を安定させ、人びとができるだけ平等に落ち着いて暮らすことではなかっただろうか。経済活動の原点に戻ろうとしているのだ。
3. 日本の経済力の源泉は、組織を生かすところにあった。企業は雇用を引き受け、長期的な見通しを持ち、個々の能力よりもチームで成果を上げる。人びとは将来の生活が見通せたので、需要も拡大した。市場経済は結局、人間が幸せに暮らせる社会のなかでこそ、うまくいく。日本に必要なのは、失われた組織の力を取り戻すことだ。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2010年11月6日号)

経営者のための危機管理

日記のすすめ

高柳 正盛 (日経トップリーダー編集長)

1. 企業を取り巻く環境は激変しています。一度成功したからといって、そこに安住すれば、あっという間に取り残されてしまうでしょう。優秀な経営者ほど、苦言を呈する人がいないのが世の常。ならば、自ら経営判断や行動は正しいかを振り返り、改革し続けるしかありません。
2. 仕事に関することはもちろん、自分自身の心情も素直に記し、それを読み返すことで自己反省ができる。日記 (気分が乗らないときは 1 行でもいい。とにかく毎日書くこと) は、思いのほか、経営者の強い味方なのかもしれません。

(参考:「日経トップリーダー」:2010年12月号)

ワンポイント経営アドバイス

老舗企業の共通項

1. なぜ日本には江戸時代からの継続する長命企業が多いのか。その理由は、次の四点にあると思われます。①江戸時代にも特徴的な複式簿記が存在しており、丁稚から番頭に至る人事管理・教育制度が広く普及していた。②264年にも及ぶ江戸時代を通じ長期的に安定的な成長が続き、市場経済が発展した。③家業が家そのものと認識されており、家の名誉のために継続発展を目指す強い意志があった。④石田梅岩の心学に代表される思想的な背景があった。
2. 優秀な老舗には、①会社の長期継続を優先し、短期的な拡張は避ける、②社会貢献を第一として私利私欲を強く戒めるなど共通項がある。

(参考:「週刊東洋経済」2010年11月10日号)

古典に学ぶ

撤退をためらうな

「可を見て進み 難きと知りて退くは、軍の善政なり」

(訳)「春秋左氏伝」、略して「左伝」という古典があります。日本の先人たちにも、歴史の入門書として広く読まれてきました。これは、その「左伝」にある言葉です。何を言わんとしているのかと言いますと、「有利と見たら進み、不利と見たら退くのが、作戦の原則である」というのです。

(参考:守屋 洋「リーダーのための中国古典」:日経ビジネス人文庫)